



雫石町の観光マスコットキャラクター

「しずくちゃん」。雫石あねっこをモチーフにした、
可愛いキャラクターです。

令和6年(2024 年)

雫石町観光客入込調査報告書



雫石町観光商工課

目 次

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要	1
(1)調査の目的	
(2)各統計調査種目	
(3)調査期間	
(4)調査方法	
2 調査・本書に関する注意事項	2
(1)調査に関する事項	
(2)本書に関する事項	
3 用語の定義	4
(1)入込調査に関する用語	
(2)社会的要因に関する用語	
4 入込調査ポイント(観光施設)一覧表	6

II. 本編

1 観光レクリエーション客の入込動向	7
2 観光地年別入込状況	13
3 観光地別月別入込状況	17
4 観光資源別入込状況	19
5 利用交通機関の状況	21
6 県外教育旅行客の入込状況	22
7 外国人観光客の入込状況	25
8 2024～2025シーズン・スキー客入込状況	28
9 雫石町観光レクリエーション客入込数の推移	30

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要

(1) 調査の目的

雫石町内の観光地における観光客の動向等を把握し、効果的な観光振興策を進めるための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 各統計調査種目

①基本統計

ア. 観光レクリエーション客入込調査

観光レクリエーション客の次の項目について、毎月調査を実施。

- ・ 県内・県外別入込数
- ・ 日帰・宿泊別入込数
- ・ 利用交通機関別入込数

②その他の統計

ア. 外国人観光客入込調査

外国人観光客の入込数について、国別（日帰・宿泊別）に毎月調査を実施。

イ. 教育旅行客入込調査

学校、学習塾、スポーツ合宿など、教育や学習の一環として訪問した教育旅行客の次の項目について、毎月調査を実施。（教育旅行に含まれるものは、修学旅行、林間学校、スキー旅行、スポーツ合宿(大会)など。）

- ・ 都道府県別
- ・ 学校数（数）
- ・ 人員
- ・ 見学・体験等
- ・ 宿泊の有無

ウ. シーズン・スキー客入込調査

冬季の観光振興を図るための基礎資料を得ることを目的に、スキーのシーズンに合わせ、前年の12月からシーズンに該当する年の4月までを期間として、雫石町内3つのスキー場を対象に毎月実施。

(3) 調査期間

令和6年1月1日 ～ 令和6年12月31日

(4) 調査方法

毎月調査については、依頼文書及び調査様式を送付し、様式内に必要事項を記入のうえ、メール、FAX等で担当まで報告。また、毎月の報告期限については依頼文書において照会している。

2 調査・本書に関する注意事項

(1) 調査に関する事項

本調査は、平成 21 年雫石町入込調査報告書まで岩手県の共通基準に基づいた調査により、入込客数の集計を行ない報告書にしていた。それまでに岩手県が行なっていた調査は、従来の全国共通基準に従った方法であったが、その共通基準が平成 22 年に大幅な変更となった。主な変更点としては次のとおりである。

①観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（平成 22 年 2 月、岩手県）

項 目	平成 21 年以前の調査基準 [調査名：観光レクリエーション客入込 調査]	平成 22 年以降の調査基準 [調査名：観光地点等入込客数調査]
調査地点	・市町村が定める調査地点	・月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が 半分未満と判断される地点 ・観光入込客数が適切に把握できる地点 ・ <u>前年の入込客数が年間入込客数 1 万人以上 もしくは前年の特定月の入込客数 5 千人以上 の地点</u>
調査箇所数	124 観光地（754 箇所以上）	約 350 箇所
報告回数	年 4 回（四半期毎）	年 4 回（四半期毎）
公表回数	年 1 回（県観光統計概要として公表）	年 4 回（四半期毎）

これは、全国共通基準に基づき岩手県で行なう調査である。しかし、市町村毎の調査については県で行なう統計調査と統一する必要がない旨の説明があったことから、雫石町で行なう入込客数調査については、以前まで行なっていた調査を一部変更し継続することとした。変更事項については次のとおりである。

②観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（雫石町）

項 目	平成 21 年以前の調査基準	平成 22 年以降の調査基準
観光資源	・ 自然系観光資源（温泉以外・温泉） ・ 人文系観光資源（行・祭事） ・ 展示見学教育施設 ・ 野外活動施設（スキー以外・スキー）	・ 左記標記の観光資源（4 つの観光資源） ・ 都市型観光資源 ・ その他観光資源（道の駅等） ※用語の定義を参照
調査地点	・ 観光資源に伴った観光施設	・ 以前までの観光施設 ・ 新たな観光資源により追加した観光施設 道の駅「雫石あねっこ」(売店・レストラン)、 味力レストラン雫(雫石銀河ステーション 内)、農家レストラン「らら」、松ぼっくり
調査箇所数	94 箇所	97 箇所
公表回数	年 2 回（速報版・確定版）	年 2 回（速報版・確定版）
観光資源の追加理由	・ 以前までの調査については、食・グルメ、その他都市型観光（買物等）、道の駅（入浴施設以外）を含めておらず、雫石町内への正確な入込客数を把握できていなかった。そこで、平成 22 年より都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）を追加して、より正確な入込客数を把握することとした。 ・ 都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）は、現在、岩手県が行なっている観光統計基準にあるもので、平成 22 年より新たに追加された観光資源である。この観光資源が追加になったことから、当町の統計調査でも追加することとした。	

（２）本書に関する事項

雫石町観光客入込調査報告書については、本編において平成 22 年以降に行なった調査基準を用いたデータで比較分析を行ない、参考資料で平成 21 年以前の調査基準を用いた平成 22 年までの推移を記載する。

3 用語の定義

本書で使用する主な統計用語の定義は、次に説明しているとおりである。

(出典先：平成 29 年雫石町観光統計調査要領)

(1) 入込調査に関する用語

①【観光レクリエーション客】

居住地が観光地の地域内であるか否か、若しくは、外出距離の遠近にかかわらず、観光レクリエーションの目的で、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した者をいう。

②【人回】

観光レクリエーション客の入込数の単位であり、令和 6 年 12 月末日において、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントをゲートとしてカウントする延べ人員数をいう。

③【外国人観光客】

観光施設、行・祭事、イベントなどに、観光レクリエーションの目的で訪問した外国人客をいう。

④【県外教育旅行客】

学校、学習塾、スポーツ少年団による合宿など、教育や学習、スポーツの一環として、観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した県外に学校が所在する旅行客をいう。

⑤【自然系観光資源】

雫石町内の山岳、高原、湖沼、特殊地形、植物で、観光的に魅力のあるもの及び温泉をいう。

⑥【人文系観光資源】

雫石町内の神社、仏閣、庭園、町並み、旧街道、歴史的建造物、近代的建造物、史跡、名所（文学碑、銅像、墓、生家など）、行・祭事、イベント、郷土芸能、伝統工芸術、地域風俗、味覚などで、観光的に魅力のあるものをいう。

⑦【展示見学教育施設】

雫石町内の歴史民俗資料館、美術館、産業観光施設等をいう。

⑧【野外活動施設】

雫石町内のハイキングコース、自然歩道、自然散策路、テニスコート、キャンプ場、ゴルフ場、スキー場、観光農林業、観光牧場、レジャーランド、公園、プール等をいう。

⑨【都市型観光資源】

雫石町内の商業施設、地区・商店街、食・グルメ、その他都市型観光（買物・食等）等をいう。

⑩【その他観光資源】

他に分類されない観光地点のことをいう。また、道の駅やパーキングエリア等はここに含める。ただし、単なる休憩機能のみの施設は除くこととする。

⑪【定路線交通機関】

鉄道、定期バスなど、定期的に運行している交通機関をいう。

⑫【その他（交通機関）】

定路線交通機関、貸切バス、自家用車以外の交通機関のことをいう。例としては、レンタカー等がこれに含まれる。

（２）社会的要因に関する用語

○主な用語

①【雫石・冬フェスタ in 小岩井農場】

開催終了となった「いわて雪まつり」の後継として、令和５年に初開催したイベント。本年は２回目として、１月２７日～２月１２日までの１７日間小岩井農場まきば園を会場に開催された。そりが楽しめる広場、スノートレイン、スノーフォレストツアーなどの体験型アクティビティの他、かまくらの中で鍋を楽しむ「かまくら GyuGyu」などが登場。暖かい日が続いて雪不足となり、一部イベントの中止やスキー場から雪を運ぶといった対応となったが、２０,０００人が訪れた。

②【KOIWA Winter Lights - 銀河農場の夜 2024】

小岩井農場まきば園で開催される冬のイルミネーションイベントで、今年１１回目の開催となった。お馴染みの「光の迷路」や「牛乳パックランタン」の他、今回も緑の草原を模したものや５本の光のツリーなど新しいイルミが登場し、親子連れやカップルで賑わった。１１月２３日から年明け１月１３日まで開催。

③【元祖しずくいし軽トラ市 20 周年】

よしやれ通り商店街を会場に平成１７年から開催されている「軽トラ市」は、軽トラックの荷台をそのまま店先にしたユニークな青空市で、雫石町が元祖とされる。２０周年の節目となった令和６年は通常の実施に加え、７月に初めての試みとなる「軽トラ市」を開催。午後３時から午後７時の開催で、中高生などがお祭り感覚で訪れたり、そのまま飲食店へ人が流れるなど、普段とは異なる賑わいを見せた。

○補足用語

①【岩手山の火口周辺警報】

常時活動監視がなされている岩手山では、本年９月以降大地獄谷周辺で山体膨張が観測されていたが、加えて黒倉山付近での微小な火山性地震の発生頻度が上がるなどしたことを受けて、１０月２日に噴火警戒レベルがこれまでの「レベル１：活火山であることに留意」から「レベル２：火口周辺規制」に引き上げられた。「噴火警戒レベル２」は想定火口から概ね２Kmの範囲で立ち入りの規制がされるものだが、岩手山ではこの範囲にシェルター等緊急時の避難設備がないことから、入山そのものを規制している。このため、滝沢市、八幡平市、雫石町の各登山口で入山を規制するとともに、岩手山へ繋がる登山道の西岩手山想定火口から約２Kmの範囲で入山を規制した。その後も山体膨張や火山性地震は引き続き観測されており、規制の解除には至っていない。

一方で、近々に噴火の危険がある状況ではないにもかかわらず、風評被害により八幡平市では宿泊施設の予約キャンセルが多く発生していると聞く。平成１０年に入山規制が敷かれた際には全面解除までおよそ６年かかっており、今回も長期化に伴う観光への影響が懸念される。

4 入込調査ポイント（観光施設）一覧表 ※調査にご協力いただいていない施設も含まれています。

小岩井地区	小岩井農場	鶯宿地区	温泉民宿 川久(休館中)
	ヴィラ館々倶楽部		八幡平カントリークラブ
	ペンション イーハートブ花の郷(閉館)		フラワー＆ガーデン森の風
	ペンション カンタービレ		鶯宿集会所
	B&Bホテルアルカディア(休館中)		男助山登山
	雫石リゾートホテル(新規)		しずくいし YU-YU ファーム
	雫石・冬フェスタ	国見・橋場地区	石塚旅館
長山・網張地区	岩手高原スノーパーク		森山荘
	休暇村岩手網張温泉 本館		道の駅「雫石あねっこ」
	休暇村岩手網張温泉 温泉館		小柳沢砂防公園オートキャンプ場
	網張温泉スキー場		国見山荘(閉館)
	網張展望リフト		国見キャンプ場(閉場)
	網張温泉キャンプ場		駒ヶ岳登山
	網張ビジターセンター	滝ノ上地区	滝観荘
	あみはりロッジ		滝峡荘
	ペンション さんりんしゃ		みやま荘(休館中)
	ペンション びつき(休館中)		滝ノ上登山
	ペンション HAIJI	玄武地区	玄武風柳亭(閉館)
	プチホテル クロくまくん(休館中)		ロッジたちばな
	ペンション ベルクレール		四季の里
	ペンション ドア		温泉ペンション くまさんち
	ペンション フィールドノート(閉館)	西根地区	雫石プリンスホテル
	RV パーク岩手山(ペンションもみじ)		雫石ゴルフ場
	ペンション 山賊		雫石スキー場
	B&B ロックイーグル(休館中)		ペンション シャラ
	民宿 なががわ		ペンション パオ
	民宿 杉清荘(休館中)		ペンション ビアフィールド(休館中)
	民宿 坂井荘		Soil
	民宿 長助(11 月から休館中)		ロッジ しのむら(閉館)
	コテージ クレソン		民宿 寿(閉館)
	農家レストランらら		民宿 大柳(閉館)
	松ぼっくり		民宿 そで(閉館)
	県営屋内温水プール		民宿 しらかば
	ゆこたんの森		民宿 高見荘
	ありね山荘		民宿 雫石荘
	岩手山登山		民宿 大工
鶯宿地区	長栄館(閉館)	その他地区	上野旅館(年内で閉館)
	ホテル加賀助		佐々木旅館
	ホテル偕楽苑		しずく×CAN
	寿広園		ホテル 花の湯(休館中)
	ホテル森の風鶯宿		御所湖広域公園(乗り物広場)
	ニュー鶯山荘(閉館)		御所湖広域公園(ファミリーランド)
	ホテル鶯		御所湖広域公園(町場地区園地)
	清光荘		御所湖川村美術館
	川長		雫石銀河ステーション(売店・レストラン)(閉店)
	鶯泉館		歴史民俗資料館
	かどや旅館(閉館)		ケツパレランド
	石塚旅館(閉館)		自由屋サマーゲレンデ
	鶯宿温泉の宿 赤い風車		雫石川(溪流釣り)
	温泉民宿 あけぼの荘		元祖しずくいし軽トラ市
	温泉民宿 とちない(12/9 閉館)		雫石よしやれ祭
	温泉民宿 小枝		南部よしやれ全国大会
	温泉民宿 栄弥		しずくいし産業まつり
	温泉民宿 けむやま(閉館)		岩手山ろくファミリーマラソン

Ⅱ. 本編

1 観光レクリエーション客の入込動向

(1) 概況

本年令和6年の観光レクリエーション客の入込数は2,126,690人回で、昨年より68,945人回増の103.4%、コロナ前の令和元年との比較では389,642人回減の84.5%となった。本年は盛岡市のニューヨークタイムズ紙記事の効果やインバウンドの伸びで入込客数の増加が期待されたが、伸びは鈍化しており依然コロナ前の85%ほどに留まっている。

日帰客数は、1,868,185人回で、前年比65,992人回増(103.7%)/R1年比318,293人回減(85.4%)。

宿泊客数は、258,505人回で、前年比2,953人回増(101.2%)/R1年比71,349人回減(78.4%)。

宿泊客はほぼ前年並み、日帰客も伸びが小さくなっている。

なお、12月末時点で4宿泊施設が閉館・廃業した。

	R1	R3	R4	R5	R6
日帰	2,186,478	1,423,879	1,718,803	1,802,193	1,868,185
宿泊	329,854	128,561	202,098	255,552	258,505
総入込数	2,516,332	1,552,440	1,920,901	2,057,745	2,126,690

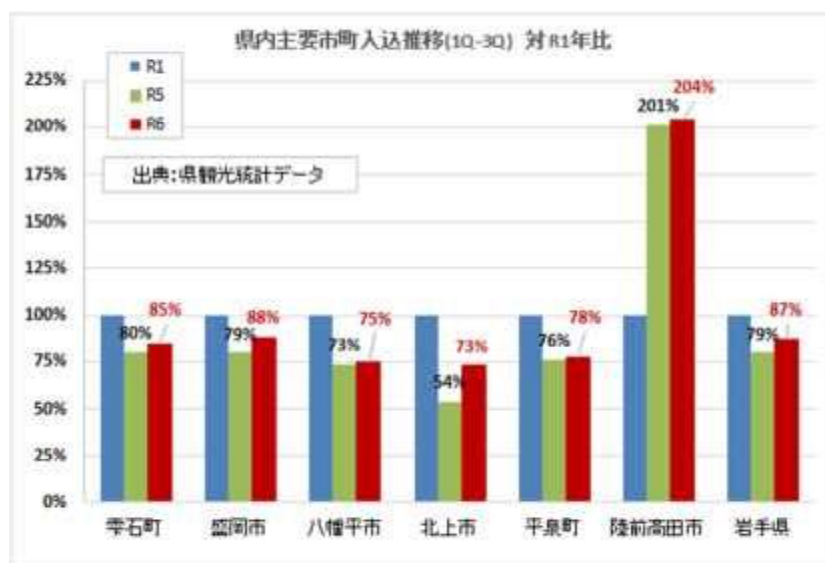


県の観光統計データから、岩手県および県内の主な市町の状況を見てみる。なお、本年のデータについては現在公開されている第3四半期までで、また特定の施設のみ集計対象のため、この報告書で述べる入込客数とは数値が異なる。

県全体の本年第3四半期までの入込客数は20,325,479人回で、同じ第1～第3四半期の同期比では昨年の109.4%、コロナ前の86.9%で、R5年に盛岡市がNYT紙の「2023年に訪れるべき世界の52か所」に選ばれたことによる効果は、国内観光客に対しては明らかではない。盛岡市の入込は昨年同期比では約110%となったもののコロナ前の約88%で、コロナ前を超える増加には至っていない。また主な市町についても、昨年より増加しているものの、陸前高田市を除きコロナ前の73～88%ほどに留まっており、盛岡市から周辺の市町への波及効果についても現時点では不明である。

	入込数（人回）				R5/R1年比	R6 1Q-3Q/R1年比		R6 1Q-3Q/R5年比	
	R1	R4	R5	R6 1Q-3Q		(人回)		(人回)	
雫石町	1,806,804	1,354,432	1,522,434	1,224,800	84.3%	-582,004	67.8%	-297,634	80.5%
盛岡市	3,995,336	1,383,313	3,226,667	3,146,635	80.8%	-848,701	78.8%	-80,032	97.5%
八幡平市	1,903,771	1,570,929	1,430,368	1,108,773	75.1%	-794,998	58.2%	-321,595	77.5%
北上市	1,209,165	531,172	701,951	790,569	58.1%	-418,596	65.4%	88,618	112.6%
平泉町	2,064,542	976,430	1,514,255	1,168,305	73.3%	-896,237	56.6%	-345,950	77.2%
陸前高田市	871,281	982,913	1,276,320	969,913	146.5%	98,632	111.3%	-306,407	76.0%
岩手県	29,213,467	18,332,530	23,858,229	20,325,479	81.7%	-8,887,988	69.6%	-3,532,750	85.2%

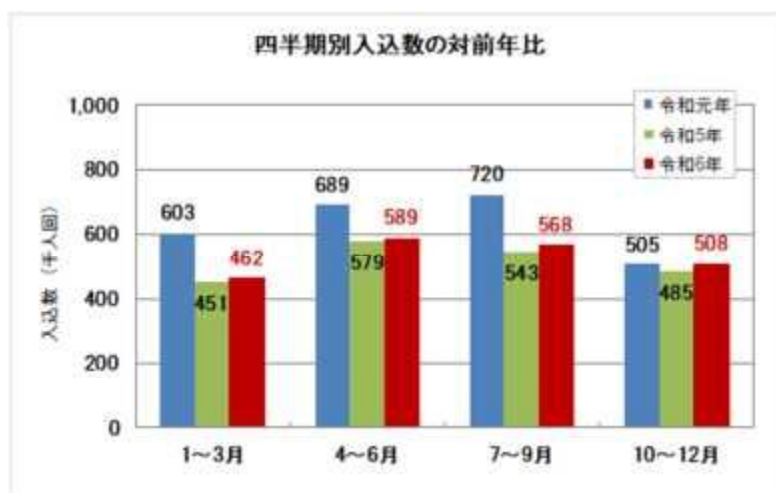
	1-3Q入込数（人回）				R5/R1年比	R6/R1年比		R6/R5年比	
	R1	R4	R5	R6		(人回)		(人回)	
雫石町	1,443,571	1,017,986	1,152,029	1,224,800	79.8%	-218,771	84.8%	72,771	106.3%
盛岡市	3,579,906	1,083,546	2,843,460	3,146,635	79.4%	-433,271	87.9%	303,175	110.7%
八幡平市	1,480,682	1,206,507	1,082,654	1,108,773	73.1%	-371,909	74.9%	26,119	102.4%
北上市	1,086,104	435,458	582,096	790,569	53.6%	-295,535	72.8%	208,473	135.8%
平泉町	1,503,913	644,574	1,143,235	1,168,305	76.0%	-335,608	77.7%	25,070	102.2%
陸前高田市	475,358	733,416	953,634	969,913	200.6%	494,555	204.0%	16,279	101.7%
岩手県	23,391,964	13,853,988	18,583,469	20,325,479	79.4%	-3,066,485	86.9%	1,742,010	109.4%



(2) 詳細

①四半期別

	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	計
令和元年	602,574	689,232	719,570	504,956	2,516,332
令和5年	451,115	578,962	543,124	484,544	2,057,745
令和6年	462,289	588,588	567,925	507,888	2,126,690
前年比	102.5%	101.7%	104.6%	104.8%	103.4%
R1年比	76.7%	85.4%	78.9%	100.6%	84.5%



○1～3月 (単位：人回)

	1月	2月	3月	1～3月計
令和元年	186,423	269,703	146,448	602,574
令和5年	159,058	146,543	145,514	451,115
令和6年	165,134	173,934	123,221	462,289
前年比	103.8%	118.7%	84.7%	102.5%
前年差	6,076	27,391	-22,293	11,174
R1年比	88.6%	64.5%	84.1%	76.7%
R1年差	-21,289	-95,769	-23,227	-140,285

信州など暖冬の影響で十分な積雪がなく、他地域からのスキー客流入が増加。2月暖かく融雪が進んだが、3月の冷え込みで積雪が回復し、スキー場も持ち直した。その一方で、降雪によりスキー場以外の施設で入込が減少し、3月は前年割れとなった。

○4～6月 (単位：人回)

	4月	5月	6月	4～6月計
令和元年	193,714	306,429	189,089	689,232
令和5年	176,378	242,676	159,908	578,962
令和6年	191,002	233,919	163,667	588,588
前年比	108.3%	96.4%	102.4%	101.7%
前年差	14,624	-8,757	3,759	9,626
R1年比	98.6%	76.3%	86.6%	85.4%
R1年差	-2,712	-72,510	-25,422	-100,644

GW中は天気に恵まれたものの、日の並びが悪く長い休みとならなかったためか県外客が減少、5月は昨年を下回る結果となった。

〇7～9 月（単位：人回）

	7月	8月	9月	7～9月計
令和元年	205,444	295,298	218,828	719,570
令和5年	156,569	224,160	162,395	543,124
令和6年	154,032	231,650	182,243	567,925
前年比	98.4%	103.3%	112.2%	104.6%
前年差	-2,537	7,490	19,848	24,801
R1年比	75.0%	78.4%	83.3%	78.9%
R1年差	-51,412	-63,648	-36,585	-151,645

7 月は月の 2/3 が雨となり、日帰施設で入込が減少。8 月は昨年に続き猛暑で 7 日連続で気温が 30℃を超えるなどしたが、お盆期間天候に恵まれ日帰客を中心に増加した。9 月は昨年荒天の影響で減少していたところから、一昨年のレベルに回復。

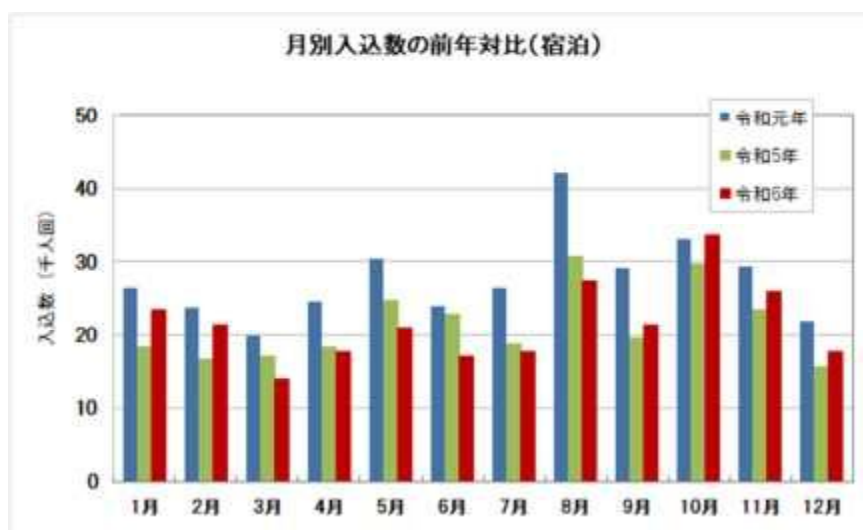
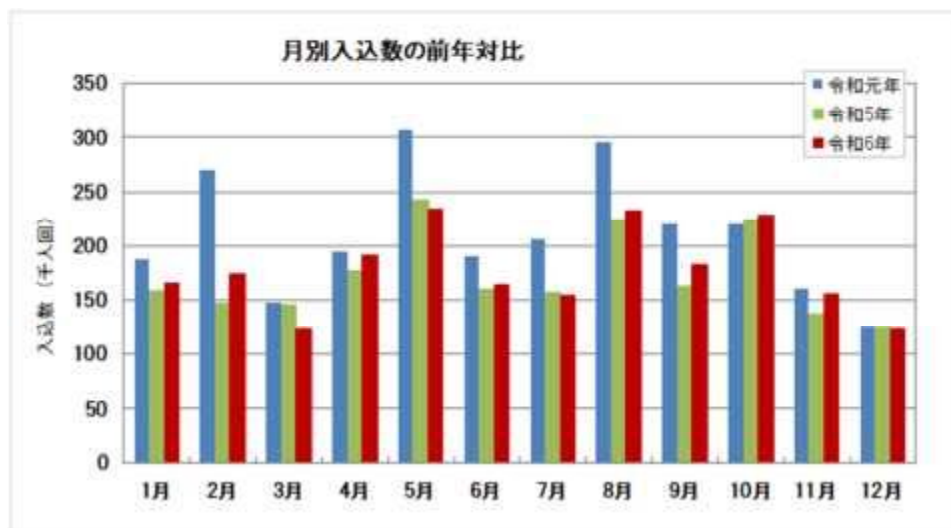
〇10～12 月（単位：人回）

	10月	11月	12月	10～12月計
令和元年	219,787	160,192	124,977	504,956
令和5年	223,148	136,598	124,798	484,544
令和6年	228,734	155,769	123,385	507,888
前年比	102.5%	114.0%	98.9%	104.8%
前年差	5,586	19,171	-1,413	23,344
R1年比	104.1%	97.2%	98.7%	100.6%
R1年差	8,947	-4,423	-1,592	2,932

紅葉は例年より 7～10 日ほど遅れたが、10 月は海外からの入込が増え、昨年を上回った。また 10 月に岩手山の警戒レベルが上がって入山規制が始まり、風評被害による観光客の減少が懸念されたが、明らかな影響は見受けられなかった。

②月別

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
日帰	令和元年	160,124	246,090	126,649	169,130	276,159	165,189	179,142	253,199	189,803	186,858	131,043	103,092	2,186,478
	令和5年	140,759	129,905	128,472	158,150	218,021	137,035	137,791	193,551	142,891	193,396	113,113	109,109	1,802,193
	令和6年	141,668	152,478	109,221	173,294	212,910	146,555	136,408	204,189	160,772	195,070	129,832	105,788	1,868,185
	前年比	100.6%	117.4%	85.0%	109.6%	97.7%	106.9%	99.0%	105.5%	112.5%	100.9%	114.8%	97.0%	103.7%
	前年差	909	22,573	-19,251	15,144	-5,111	9,520	-1,383	10,638	17,881	1,674	16,719	-3,321	65,992
	R1年比	88.5%	62.0%	86.2%	102.5%	77.1%	88.7%	76.1%	80.6%	84.7%	104.4%	99.1%	102.6%	85.4%
	R1年差	-18,456	-93,612	-17,428	4,164	-63,249	-18,634	-42,734	-49,010	-29,031	8,212	-1,211	2,696	-318,293
宿泊	令和元年	26,299	23,613	19,799	24,584	30,270	23,900	26,302	42,099	29,025	32,929	29,149	21,885	329,854
	令和5年	18,299	16,638	17,042	18,228	24,655	22,873	18,778	30,609	19,504	29,752	23,485	15,689	255,552
	令和6年	23,466	21,456	14,000	17,708	21,009	17,112	17,624	27,461	21,471	33,664	25,937	17,597	258,505
	前年比	128.2%	129.0%	82.1%	97.1%	85.2%	74.8%	93.9%	89.7%	110.1%	113.1%	110.4%	112.2%	101.2%
	前年差	5,167	4,818	-3,042	-520	-3,646	-5,761	-1,154	-3,148	1,967	3,912	2,452	1,908	2,953
	R1年比	89.2%	90.9%	70.7%	72.0%	69.4%	71.6%	67.0%	65.2%	74.0%	102.2%	89.0%	80.4%	78.4%
	R1年差	-2,833	-2,157	-5,799	-6,876	-9,261	-6,788	-8,678	-14,638	-7,554	735	-3,212	-4,288	-71,349
計	令和元年	186,423	269,703	146,448	193,714	306,429	189,089	205,444	295,298	218,828	219,787	160,192	124,977	2,516,332
	令和5年	159,058	146,543	145,514	176,378	242,676	159,908	156,569	224,160	162,395	223,148	136,598	124,798	2,057,745
	令和6年	165,134	173,934	123,221	191,002	233,919	163,667	154,032	231,650	182,243	228,734	155,769	123,385	2,126,690
	前年比	103.8%	118.7%	84.7%	108.3%	96.4%	102.4%	98.4%	103.3%	112.2%	102.5%	114.0%	98.9%	103.4%
	前年差	6,076	27,391	-22,293	14,624	-8,757	3,759	-2,537	7,490	19,848	5,586	19,171	-1,413	68,945
	R1年比	88.6%	64.5%	84.1%	98.6%	76.3%	86.6%	75.0%	78.4%	83.3%	104.1%	97.2%	98.7%	84.5%
	R1年差	-21,289	-95,769	-23,227	-2,712	-72,510	-25,422	-51,412	-63,648	-36,585	8,947	-4,423	-1,592	-389,642

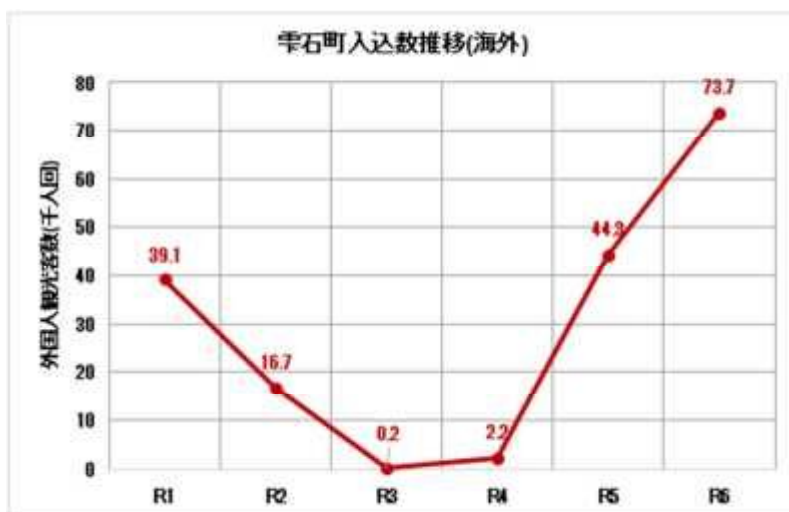


③発地別

県外客の入込数には外国人旅行者の人数も含まれているため、外国人を分けて比較を行った。昨年わずかに減少した県内客だったが本年は増加に転じ、125,416人回増の1,423,192人回と、コロナ前の約9割に回復。一方で県外客は昨年より減少し、85,874人回減の629,784人回で前年比88.0%、R1年比70.9%だった。県内客は1月、3月を除き昨年より増加。特に3月は前年の81.3%に落ち込んだが、3月に入って雪が多く、出控えが起きたのではないかとと思われる。また県外客はほぼすべての月で昨年から減少し、特に5月、8月の減少が大きくそれぞれ前年比で68.4%、79.0%となった。GWの日の並びが悪く長い休みを取りにくかったこと、お盆の時期に荒天が続いたことが影響したと見られる。

外国人観光客に関しては、全国的な増加の波を受け29,403人回増の73,714人回で、前年比166.4%、コロナ前のR1年比では188.6%と大きく増加。冬期スキーシーズンの伸びが顕著で、特に1月は前年のおよそ6倍に達した。

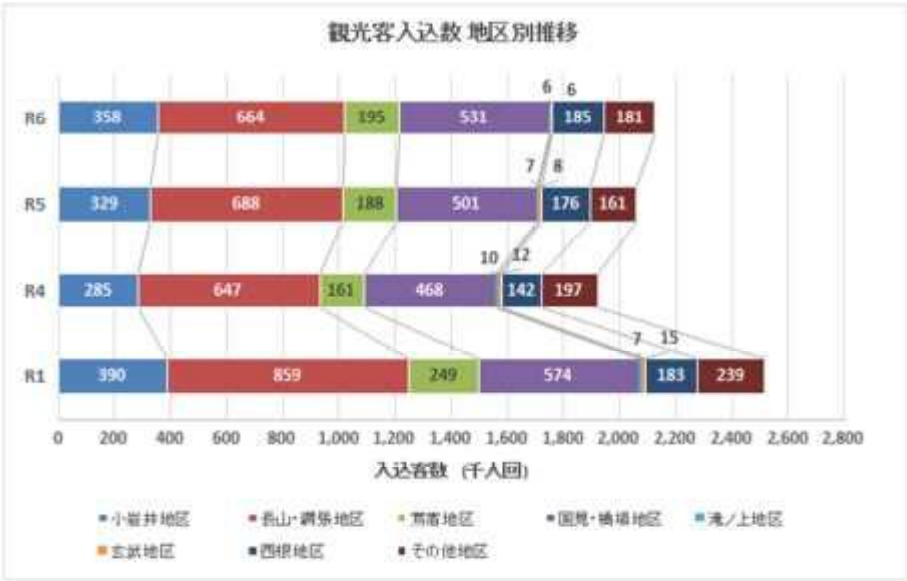
	R1	前年比	R4	前年比	R1年比	R5	前年比	R1年比	R6	前年比	R1年比
県内	1,589,390	99.0%	1,310,012	112.9%	82.4%	1,297,776	99.1%	81.7%	1,423,192	109.7%	89.5%
県外	887,851	99.6%	608,684	155.3%	68.6%	715,658	117.6%	80.6%	629,784	88.0%	70.9%
海外	39,091	106.2%	2,205	997.7%	5.6%	44,311	2009.6%	113.4%	73,714	166.4%	188.6%



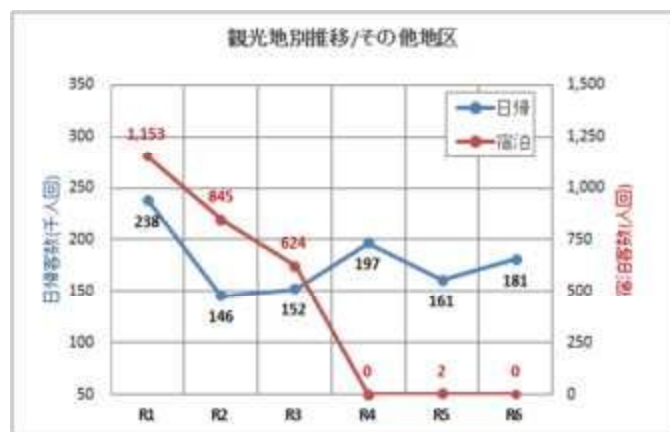
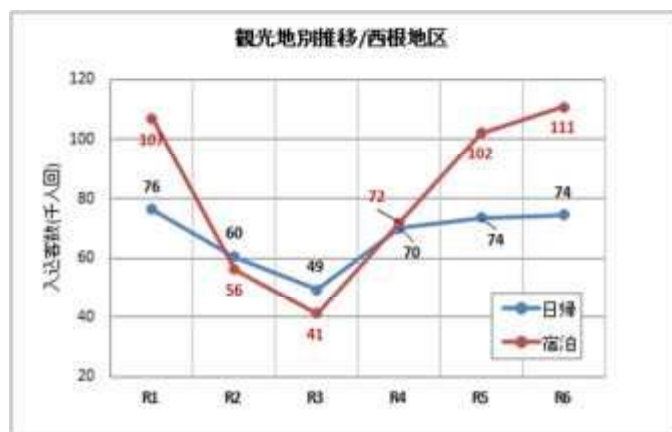
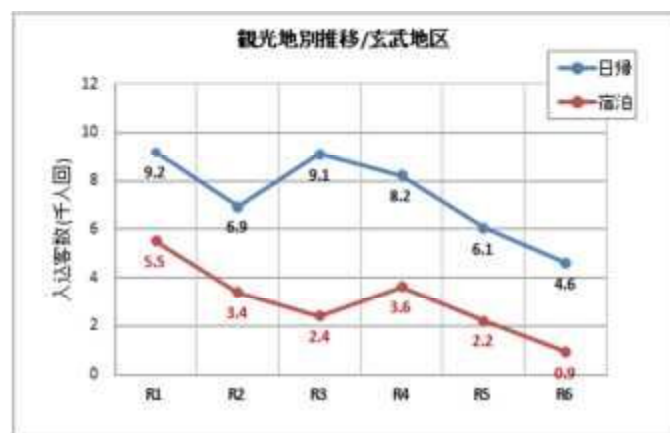
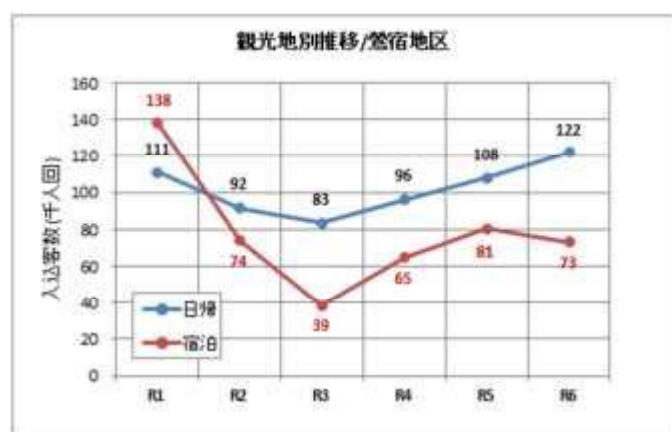
2 観光地年別入込状況

①日帰/宿泊別

本年も昨年に引き続き入込客数は増加したものの、伸びは鈍くなった。宿泊客数はほとんどの地区で減少したが、鶯宿地区は施設の閉館・休館が影響したと見られる。なお、小岩井地区の宿泊客数が大きく増加しているが、これは新たに調査施設が増えたためである。



観光地別		年度		R1		R4			R5			R6		
		人回	前年比	人回	%	R1年比	人回	前年比	R1年比	人回	前年比	R1年比		
			%										%	%
小岩井地区	日帰	389,090	100.3%	284,153	169.8%	73.0%	328,237	115.5%	84.4%	354,927	108.1%	91.2%		
	宿泊	865	108.3%	704	147.6%	81.4%	532	75.6%	61.5%	3,161	594.2%	365.4%		
	計	389,955	100.3%	284,857	169.8%	73.0%	328,769	115.4%	84.3%	358,088	108.9%	91.8%		
長山・網張地区	日帰	788,350	102.3%	591,862	105.4%	75.1%	624,276	105.5%	79.2%	600,267	96.2%	76.1%		
	宿泊	70,286	100.1%	54,835	139.4%	78.0%	63,422	115.7%	90.2%	63,932	100.8%	91.0%		
	計	858,636	102.1%	646,697	107.7%	75.3%	687,698	106.3%	80.1%	664,199	96.6%	77.4%		
鶯宿地区	日帰	110,910	98.2%	96,219	115.2%	86.8%	107,802	112.0%	97.2%	122,015	113.2%	110.0%		
	宿泊	138,153	95.8%	64,829	167.8%	46.9%	80,670	124.4%	58.4%	73,268	90.8%	53.0%		
	計	249,063	96.9%	161,048	131.9%	64.7%	188,472	117.0%	75.7%	195,283	103.6%	78.4%		
国見・橋場地区	日帰	567,453	99.5%	461,464	118.0%	81.3%	494,323	107.1%	87.1%	524,532	106.1%	92.4%		
	宿泊	6,855	104.5%	6,043	104.0%	88.2%	6,406	106.0%	93.5%	6,127	95.6%	89.4%		
	計	574,308	99.6%	467,507	117.8%	81.4%	500,729	107.1%	87.2%	530,659	106.0%	92.4%		
滝ノ上地区	日帰	7,370	124.1%	9,676	94.8%	131.3%	7,003	72.4%	95.0%	6,308	90.1%	85.6%		
	宿泊	31	—	219	153.1%	706.5%	190	86.8%	612.9%	172	90.5%	554.8%		
	計	7,401	124.6%	9,895	95.6%	133.7%	7,193	72.7%	97.2%	6,480	90.1%	87.6%		
玄武地区	日帰	9,187	104.1%	8,224	90.4%	89.5%	6,052	73.6%	65.9%	4,618	76.3%	50.3%		
	宿泊	5,512	115.6%	3,619	150.3%	65.7%	2,209	61.0%	40.1%	935	42.3%	17.0%		
	計	14,699	108.2%	11,843	102.9%	80.6%	8,261	69.8%	56.2%	5,553	67.2%	37.8%		
西根地区	日帰	76,299	97.2%	70,169	142.3%	92.0%	73,527	104.8%	96.4%	74,461	101.3%	97.6%		
	宿泊	106,999	97.4%	71,849	174.7%	67.1%	102,121	142.1%	95.4%	110,910	108.6%	103.7%		
	計	183,298	97.3%	142,018	157.0%	77.5%	175,648	123.7%	95.8%	185,371	105.5%	101.1%		
その他地区	日帰	237,819	91.4%	197,036	129.5%	82.9%	160,973	81.7%	67.7%	181,057	112.5%	76.1%		
	宿泊	1,153	81.8%	0	0.0%	0.0%	2	—	0.2%	0	—	0.0%		
	計	238,972	91.4%	197,036	129.0%	82.5%	160,975	81.7%	67.4%	181,057	112.5%	75.8%		
合 計	日帰	2,186,478	99.6%	1,718,803	120.7%	78.6%	1,802,193	104.9%	82.4%	1,868,185	103.7%	85.4%		
	宿泊	329,854	97.7%	202,098	157.2%	61.3%	255,552	126.4%	77.5%	258,505	101.2%	78.4%		
	計	2,516,332	99.3%	1,920,901	123.7%	76.3%	2,057,745	107.1%	81.8%	2,126,690	103.4%	84.5%		



②発地別

地区毎の発地別状況については以下の通り。

【小岩井地区】

本年は県外客が前年比 101,631 人回減の 44.5%と大幅に減少。この地区の性質上、修学旅行の減少が影響したと思われる。一方県内客は前年比 130,410 人回増の 193.0%と約 2 倍に。R1 年比でも約 1.8 倍に増加した

【長山・網張地区】

県内客は前年比 92.8%(R1 年比 74.5%)、県外客は同 103.6%(同 82.8%)で、こちらは県外客が増加。海外客も大きく伸ばした。

【鶯宿地区】

県内客は前年比 107.8%となったが、県外客は 91.8%に減少。未だコロナ前の 6 割ほどに留まっている。海外客については、前年比 121.5%、R1 年比 140.0%と順調に増加している。

【国見・橋場地区】

県内/県外とも昨年より増加。県内客は 19,177 人回増で 105.5%、県外客は 10,747 人回増の 107.1%。R1 年比ではいずれも 9 割ほどに留まっている。

【滝ノ上地区】

県内/県外とも昨年に続き減少。どちらも昨年の 9 割ほどとなった。

【玄武地区】

昨年は 1 施設閉館により大幅に減少したが、本年も減少は止まらず、県内客は前年比 73.6%、県外客は 49.9%で、コロナ前の 45.9%/22.5%と、大きく下回った。

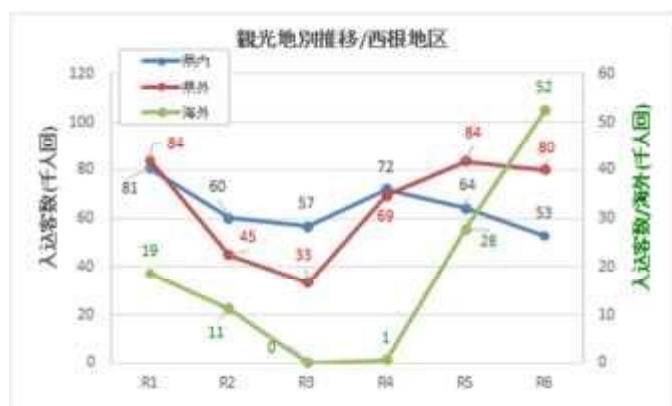
【西根地区】

国内客が昨年を下回った半面、海外客が前年比 24,709 人回増の 189.0%と大幅増。コロナ前との比較でも 281.0%と約 3 倍にまで増加した。県内客は減少が続いており、パンデミック期を下回る状況となっている。

【その他地区】

猛暑はあったものの屋外施設が好調で、県内/県外ともに増加に転じたが、いずれもコロナ前の 3/4 程度に留まる。

年度		R1	R4	R5	R6	前年比	R1年比
観光地別							
小岩井地区	県内	150,516	157,319	140,165	270,575	193.0%	179.8%
	県外	229,671	127,224	183,126	81,495	44.5%	35.5%
	海外	9,768	314	5,478	6,018	109.9%	61.6%
	計	389,955	284,857	328,769	358,088	108.9%	91.8%
長山・網張地区	県内	584,626	449,430	469,349	435,741	92.8%	74.5%
	県外	272,192	197,008	217,430	225,329	103.6%	82.8%
	海外	1,818	259	919	3,129	340.5%	172.1%
	計	858,636	646,697	687,698	664,199	96.6%	77.4%
鶯宿地区	県内	150,323	116,562	120,716	130,160	107.8%	86.6%
	県外	90,195	43,518	57,907	53,157	91.8%	58.9%
	海外	8,545	968	9,849	11,966	121.5%	140.0%
	計	249,063	161,008	188,472	195,283	103.6%	78.4%
国見・橋場地区	県内	401,866	324,671	349,493	368,670	105.5%	91.7%
	県外	172,440	142,836	151,236	161,983	107.1%	93.9%
	海外	2	0	0	6	-	300.0%
	計	574,308	467,507	500,729	530,659	106.0%	92.4%
滝ノ上地区	県内	5,656	7,979	5,710	5,114	89.6%	90.4%
	県外	1,745	1,914	1,483	1,356	91.4%	77.7%
	海外	0	2	0	10	-	-
	計	7,401	9,895	7,193	6,480	90.1%	87.6%
玄武地区	県内	9,607	8,514	5,992	4,408	73.6%	45.9%
	県外	5,037	3,329	2,269	1,133	49.9%	22.5%
	海外	55	0	0	12	-	21.8%
	計	14,699	11,843	8,261	5,553	67.2%	37.8%
西根地区	県内	80,691	71,965	64,314	52,813	82.1%	65.5%
	県外	83,932	69,465	83,574	80,089	95.8%	95.4%
	海外	18,675	588	27,760	52,469	189.0%	281.0%
	計	183,298	142,018	175,648	185,371	105.5%	101.1%
その他地区	県内	206,105	173,572	142,037	155,711	109.6%	75.5%
	県外	32,639	23,390	18,633	25,242	135.5%	77.3%
	海外	228	74	305	104	34.1%	45.6%
	計	238,972	197,036	160,975	181,057	112.5%	75.8%
合計	県内	1,589,390	1,310,012	1,297,776	1,423,192	109.7%	89.5%
	県外	887,851	608,684	715,658	629,784	88.0%	70.9%
	海外	39,091	2,205	44,311	73,714	166.4%	188.6%
	計	2,516,332	1,920,901	2,057,745	2,126,690	103.4%	84.5%



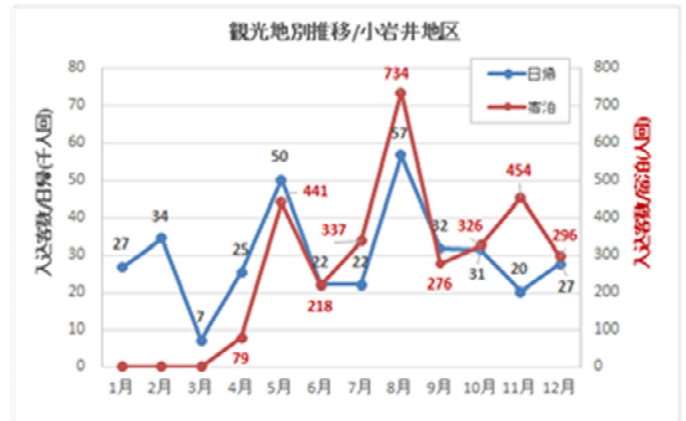
* 年間の外国人観光客数が50人以下の地区は、グラフから除外しています

3 観光地別月別入込状況

町内各地区の月毎の推移は以下の通り。

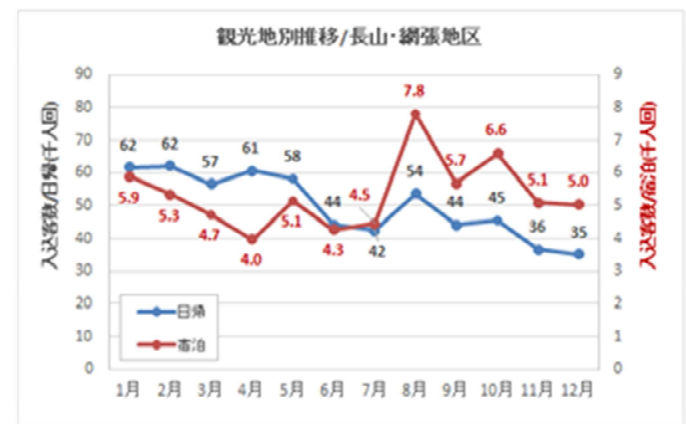
【小岩井地区】

日帰客については、GW や夏休みといった長期休暇のある5月、8月がピークとなり、「雫石・冬フェスタ」が開催される2月にも入込のピークが見られた。宿泊客に関しては、8月、11月に増加が見られた。なお、1月から3月は施設冬期休業のためデータなし、5月の急増は新規に調査を開始した宿泊施設のデータが加わったためである。



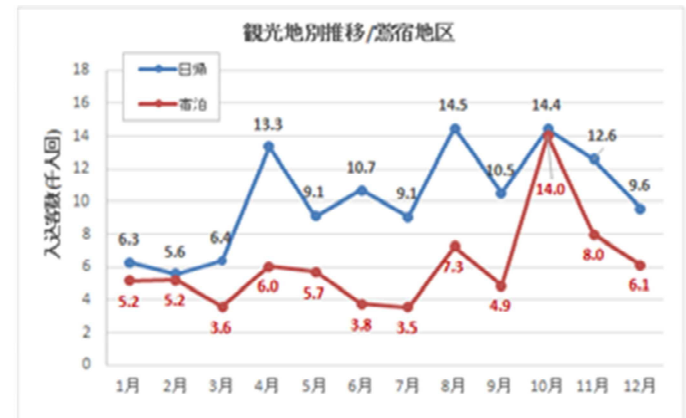
【長山・網張地区】

日帰客は上半期に入込が多い傾向にある。スキー場等営業期間が限られる施設はあるものの、振れ幅は比較的小さい。宿泊客については上半期が少なくなっているが、これは主要施設で改修工事のため利用が限られた影響と思われる。また、11月、12月の宿泊者数が減少し、10月以降の岩手山入山規制の影響が懸念されたが、例年も同様の傾向と示しており、入山規制の影響は明らかではない。



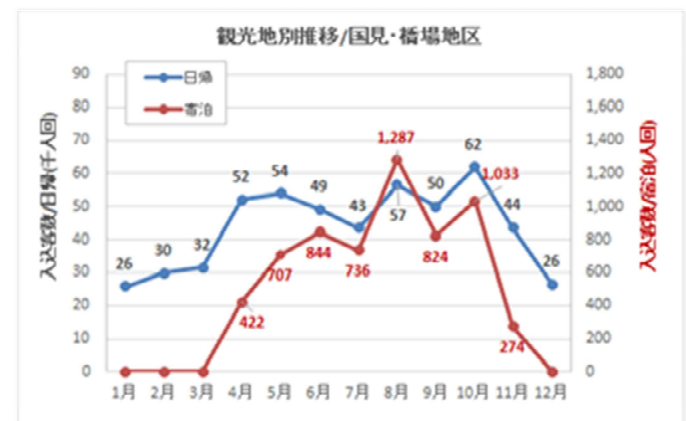
【鶯宿地区】

日帰客は、専らグリーンシーズンに集中しており、冬期には少なかった。宿泊客は、前半、主要施設の改修工事に伴う長期休館と閉館の影響を受けたが、営業再開後の10月の紅葉期には大きなピークを迎えた。



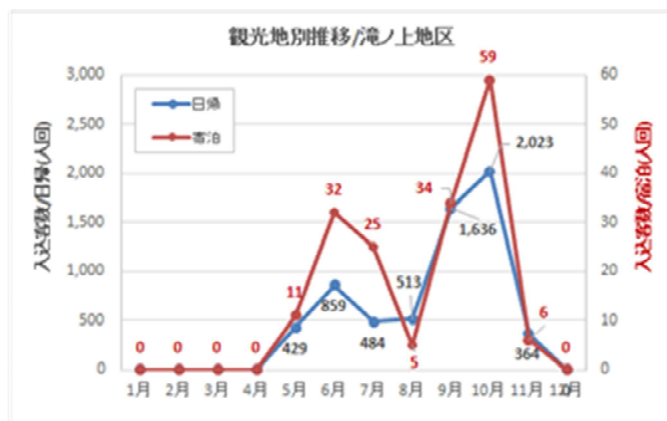
【国見・橋場地区】

国見地区の冬期休業のため、日帰/宿泊共高原状の推移となる。8月の宿泊客数のピークは、キャンプ利用者の増加によるところが大きい。また他の地区と同様、紅葉期の10月にも入込客数が増加。



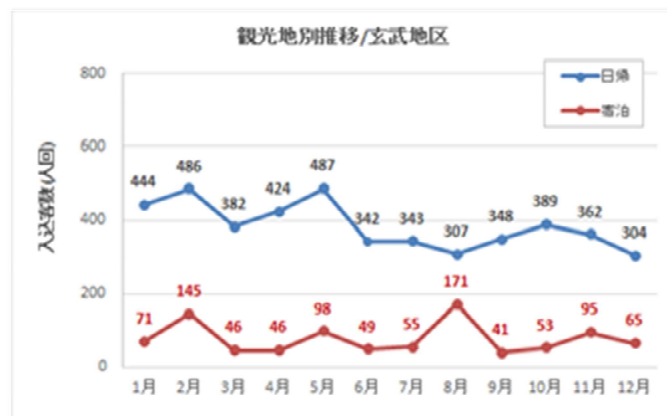
【滝ノ上地区】

宿泊客は絶対数が少ないが、日帰/宿泊とも紅葉期の10月に入込のピークとなり、次いで登山等入山者が増える6月も入込客数が多かった。



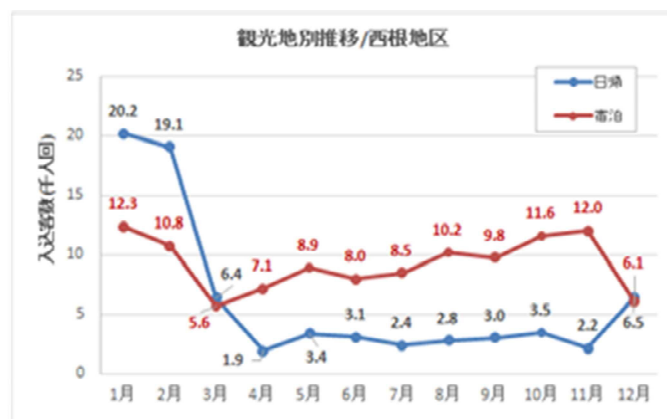
【玄武地区】

日帰/宿泊とも大きな変動は見られず、他地区のような紅葉期のピークもはっきりしないが、宿泊客では8月にピークが見られた。また日帰客では、下半期に比べ上半期にやや入込が多くなっている。



【西根地区】

日帰客はスキー場利用者の影響が大きい。宿泊客はスキーシーズン終盤の3月に減少するが、1年を通した変動はさほど大きくない。12月の減少は定期休館の影響と思われる。



【その他地区】

宿泊客は、休館等のため入込なし。日帰客は冬期休業が多く、ほぼグリーンシーズンのみとなっている。また、よしゃれ祭や産業まつりといった行祭事の入込もこの地区に含まれるため、開催月によりピークが発生している。



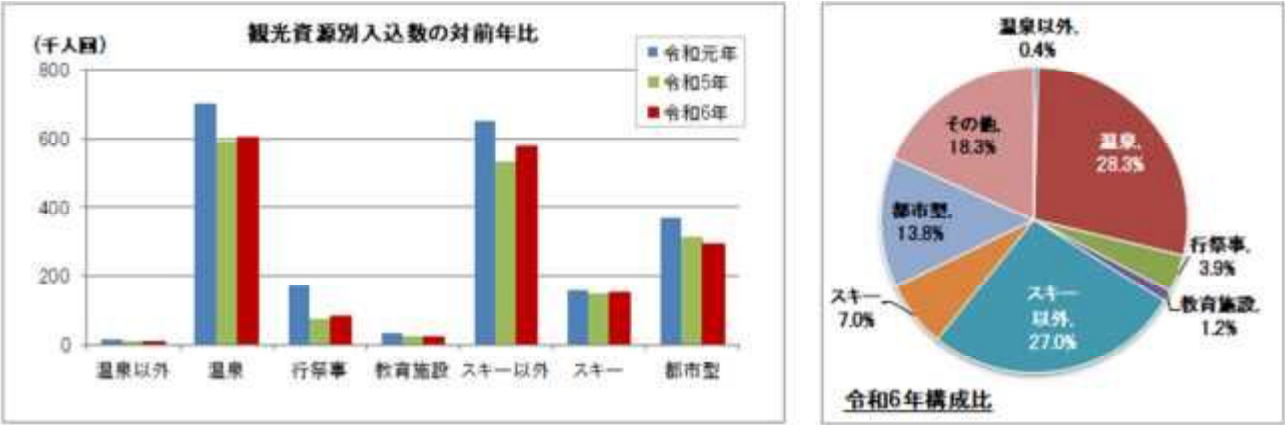
4 観光資源別入込状況

資源別に見ると、「行祭事」の伸びが大きかったが、これは雫石・冬フェスタの会期延長に伴う来場者数増や20周年記念で開催された軽トラ市による所が大きい。次いで「スキー以外の野外活動」が伸びた。また「温泉」に関しては増加が続いているものの、本年は微増に留まり、依然コロナ前の8割ほどである。一方で、「都市型観光」は昨年を引き続き減少。「スキー」は2月の少雪の影響があったが昨年並みとなった。ほとんどの資源で昨年より入込は増加したが、すべての資源においてまだコロナ前の数字には回復しておらず、50～90%ほどに留まっている。

観光資源別入込数（人回）

	自然系観光資源		人文系観光資源	展示見学 教育施設	野外活動施設		観光資源		合計
	温泉以外	温泉	行祭事		スキー以外	スキー	都市型	その他	
令和元年	16,435	698,683	168,215	32,161	647,219	156,253	365,874	431,492	2,516,332
令和5年	9,495	588,869	72,665	23,183	530,353	148,649	312,328	372,203	2,057,745
令和6年	9,155	602,145	83,900	25,075	573,492	149,383	293,517	390,023	2,126,690
前年差	-340	13,276	11,235	1,892	43,139	734	-18,811	17,820	68,945
対前年比	96.4%	102.3%	115.5%	108.2%	108.1%	100.5%	94.0%	104.8%	103.4%
R1年差	-7,280	-96,538	-84,315	-7,086	-73,727	-6,870	-72,357	-41,469	-389,642
対R1年比	55.7%	86.2%	49.9%	78.0%	88.6%	95.6%	80.2%	90.4%	84.5%
構成比(R6)	0.4%	28.3%	3.9%	1.2%	27.0%	7.0%	13.8%	18.3%	100.0%

※野外活動施設(スキー以外)には、屋内温水プール、登山などを含む。

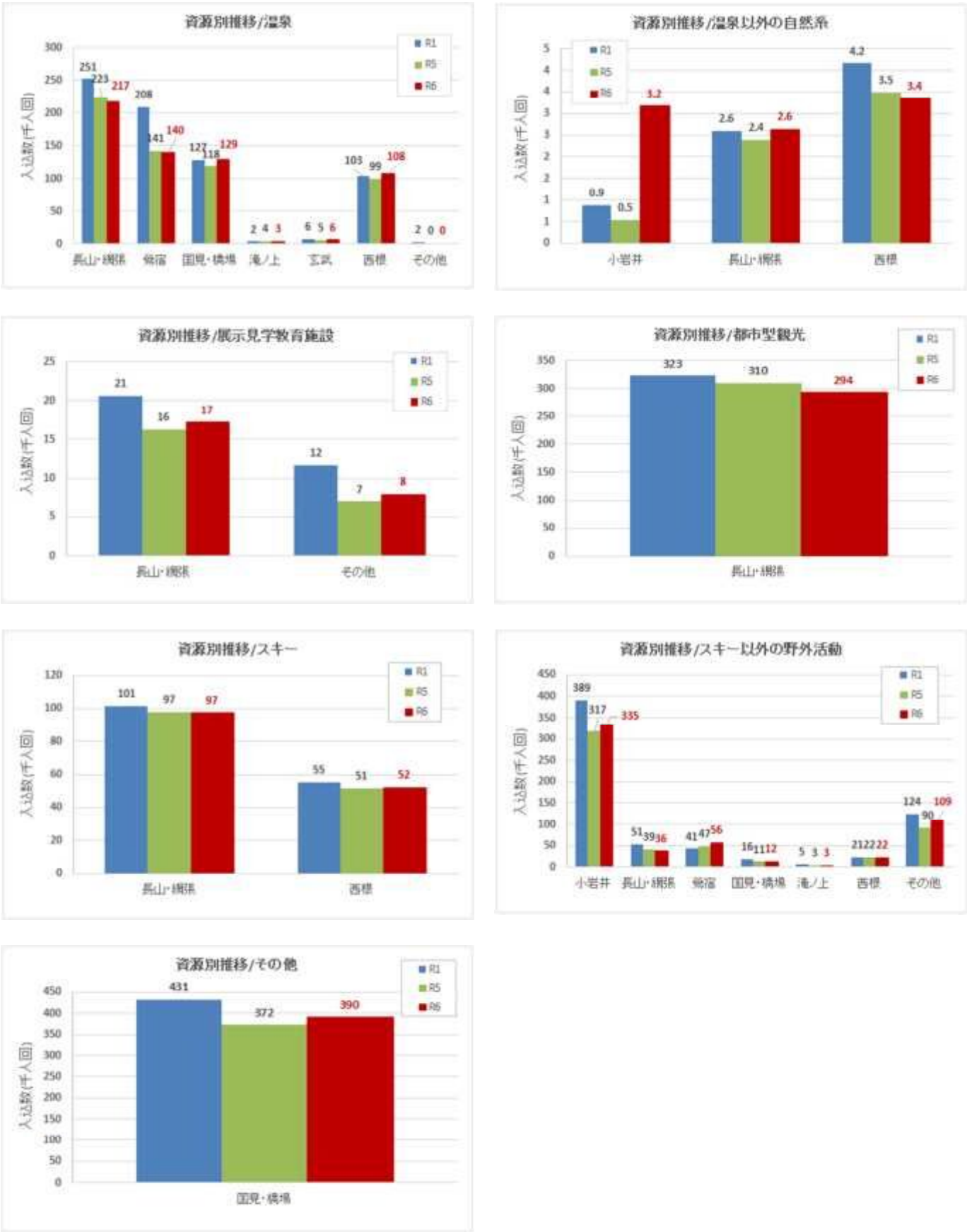


主な行祭事の入込数と対前年比（人回）

行祭事	R1	R5	R6	前年差引	前年比	R1差引	R1年比
いわて雪まつり	109,580	-	-	-	-	-	-
雫石・冬フェスタ	-	11,500	20,000	8,500	173.9%	-	-
軽トラ市	31,700	35,500	38,300	2,800	107.9%	6,600	120.8%
雫石よしやれ祭	7,300	6,200	6,000	-200	96.8%	-1,300	82.2%
南部よしやれ全国大会	500	515	350	-165	68.0%	-150	70.0%
しずくいし産業まつり	17,000	18,000	18,000	0	100.0%	1,000	105.9%

- * 「いわて雪まつり」はR4年をもって開催終了
- * 「軽トラ市」は、7月開催の夕市来場者数を含む

資源別地区別入込推移



* 該当する観光資源がある地区のみ表示

5 利用交通機関の状況

雫石町における観光レクリエーション客の主な利用交通機関に変動はなく、「自家用車」の利用が最も多く、1,702,075人回で構成比は全体の80.0%となった。また、「定期路線交通機関」の利用は主に新幹線等の鉄道、航空機によるものとみられるが、鶯宿温泉を中心にあねっこバスの利用も一定数あり、確認できた限りでもおよそ70人ほどが利用していた(網張方面でも利用者あり)。

利用交通機関の状況と前年比

(人回)

	定路線 交通機関	貸切バス	自家用車	その他	合計
令和1年	83,221	314,065	1,990,345	128,199	2,515,830
構成比(R1)	3.3%	12.5%	79.1%	5.1%	
令和5年	47,241	233,343	1,651,115	126,046	2,057,745
構成比(R5)	2.3%	11.3%	80.2%	6.1%	
令和6年	33,562	256,249	1,702,075	134,804	2,126,690
構成比(R6)	1.6%	12.0%	80.0%	6.3%	
前年比	71.0%	109.8%	103.1%	106.9%	
R1年比	40.3%	81.6%	85.5%	105.2%	

6 県外教育旅行客の入込状況

コロナ前の行先への回帰が進んだためか、本年も昨年に引き続き校数、のべ人数とも減少する結果となった。

本年の県外からの教育旅行客は、学校数がのべ 204 校、人数がのべ 12,662 人回で、昨年と比較して学校数は 1 校の減ながら、人数は 4,214 人回(前年比 75.0%)減で昨年に引き続き減少。コロナ前と比較すると学校数では 60 校上回っているものの、人数は 555 人下回る結果となった。1 校あたりの平均人数も 62.1 人/校で、H16 年以降最低となった。

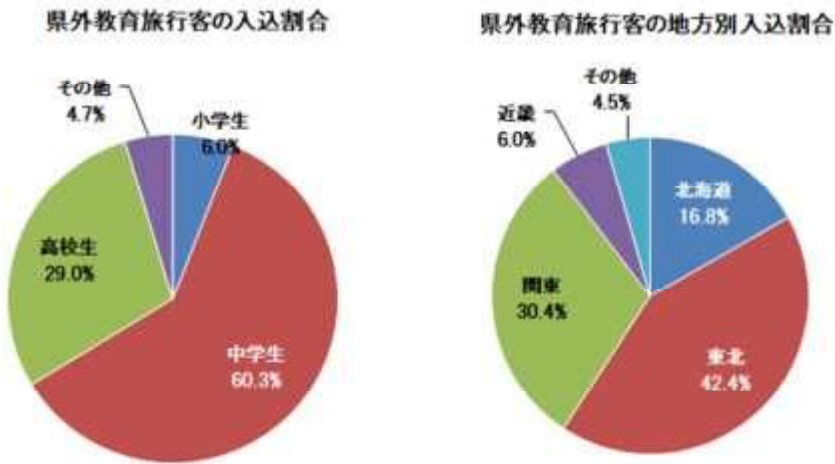
農業体験での教育旅行については、雫石町グリーン・ツーリズム推進協議会を通して春・秋で計 9 校受入れを行った。3 校は体験のみ、1 校は農家民泊も行ったが、残る 5 校は宿泊を民宿等宿泊施設を利用しての実施となった。また県と共に誘致を目指している台湾からの教育旅行に関しては、4 月に台中東山高級中学の 32 名を受入れ。そば打ち体験を行った。

学校種別では中学生が変わらず最多で、全体の 60.3%を占めた。また、小学生は 6.0%と昨年から半減、高校生も 29.0%で 10 ポイントほど減少した。学校数は 1 校の減少ながら人数は 4,000 人回ほど減少しており、少子化に伴う児童・生徒数の減少も目立っていると見られる。



学校種別	校数	のべ人数
小学校	19	761
中学校	146	7,641
高校	32	3,669
その他	7	594
計	204	12,665

発地別	校数	のべ人数
北海道	43	2,126
東北	114	5,372
関東	34	3,844
中部	5	568
近畿	8	755
中国		0
四国		0
九州		0
沖縄		0
その他		0
計	204	12,665



また発地別では、東北各県からの入込が最も多いことに変わりはないが、その割合は昨年の 52.9%から 42.4%にさらに減少。学校数で 29 校、のべ人数では 3,561 人回昨年より減少した。また、関東からは学校数は 6 校増えたものの 664 人回の減となった。その一方で、北海道からは 23 校/781 人回の増加し、道外への修学旅行が本格的に再開してきたとみられる。

【学校種別】

最も多くを占める中学生は昨年の 97.2%とわずかに減少。高校生も引き続き減少し昨年の 55.6%、小学生に至っては 32.9%でおよそ 1/3 となった。宮城、秋田からの小学生の来訪が 1,000 人回以上減少したことが大きい。また高校生は、青森、近畿からの減少が響き、コロナ前を下回る結果となった。



【発地別】

北海道を除く各地からの来訪がさらに減少。県内を除く東北各県からの来訪は依然コロナ前より多いものの、のべ人数で昨年の 60.3%となり、最も多かった R4 年の半数以下まで減少した。関東からは 34 校/3,844 人回で、学校数は増えたがのべ人数は昨年から 664 人回の減少となった。

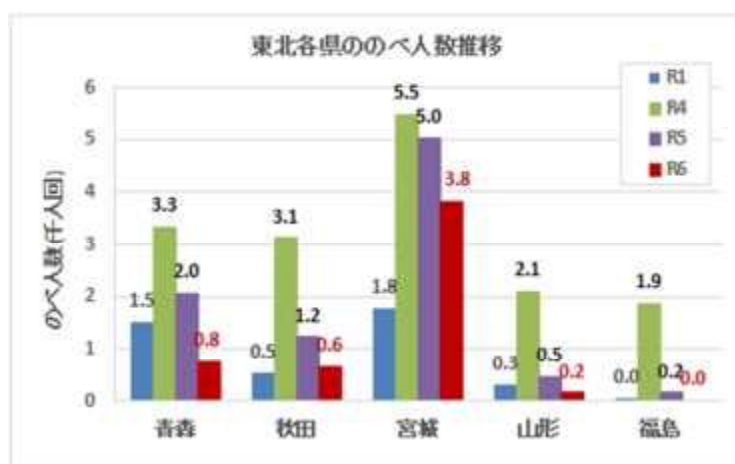
また北海道からは 43 校/2,126 人回で、学校数は昨年のおよそ 2 倍、のべ人数は 1.6 倍となった。



【東北各県からの入込状況】

すべての県で昨年より減少。青森県、山形県はともに昨年の 1/3 ほどに、秋田県は 1/2、宮城県は 3/4 の 75.9%にいずれも減少。福島県はゼロとなった。来訪は中学生、高校生が主で、小学生の減少が大きくなった。

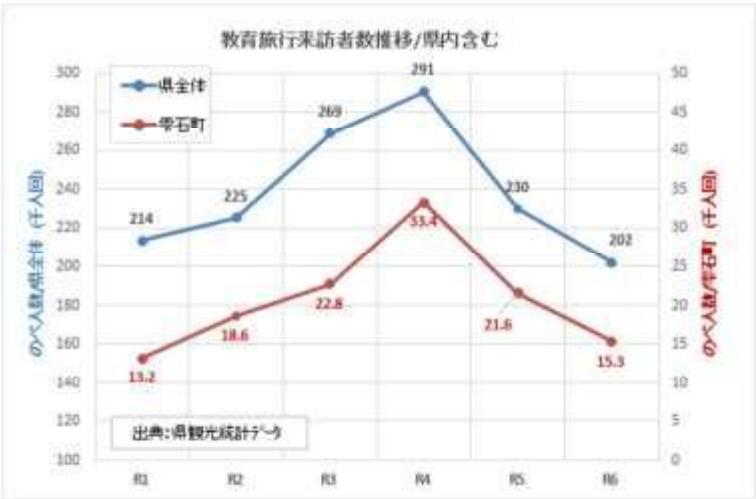
小学生は、青森県、秋田県からがゼロ、山形県は中学生、高校生がゼロとなった。



さらに県観光統計データから岩手県と他市町の状況を見てみる。

昨年岩手県全体としては、のべ人数でR4年比の79.2%と増加から減少に転じたが、本年も減少が続き、昨年から学校数で460校の減、のべ人数では27,709人回減の88.0%となった。

主な市町毎に比較すると、のべ人数で盛岡市は前年比122.0%に増加したが、その他の市町は減少した。昨年と比較して、滝沢市は38.2%、八幡平市は55.1%と大きく減少し、平泉町でも85.7%、当町は71.1%だった。滝沢市は昨年大きく伸ばしていたため、減少幅が大きくなった。八幡平市と奥州市は減少が続いており、コロナ前の3割ほどまでに落ち込んでいる。その他花巻市はわずかに減少して前年比92.4%、大船渡市は97.3%でほぼ前年並みとなった。



7 外国人観光客の入込状況

外国人観光客に関しては、国内への訪日外国人旅行者数の増加の流れを受け、当町でも昨年以上の大幅な増加となった。

本年の日本全体の外国人観光客数は JNTO の暫定値で 33,611,553 人回、昨年のおよそ 1.5 倍、コロナ前の R1 年との比較ではおよそ 1.2 倍となっており、R4 (2022) 年から R5 (2023) 年の約 8 倍というような急激な増加ではなかったものの引き続き増加し、ようやくコロナ前を超える入込となった。

町内への外国人観光客数も昨年、過去最高の 44,311 人回を記録したが、本年は昨年を大きく上回る 73,714 人回となり、前年比 29,403 人回増の 166.4%、コロナ前との比較では 34,623 人回増の 188.6%となった。昨年同様グリーンシーズンに入込が落ちなかったことと、1月、2月のスキーシーズンに大きく入込が伸びたこと、紅葉期の10月にツアーによる入込増があったことが要因として考えられる。

また昨年来、仙台空港でも運休していた中国路線を含む国際定期便の再開や香港、韓国との LCC の新規就航が進んでおり、このことも増加の一因となっているのではないと思われる。なお、花巻⇄上海便は再開に至っていないが、R7 年の旧正月に合わせ限定運行が予定されている。

日帰/宿泊の別では、日帰客数は 19,567 人回で前年比 9,834 人回増の 201.0%(R1 年比 8,377 人回増/174.9%)、宿泊客数は 54,147 人回で前年比 19,569 人回増の 156.6%(同 26,246 人回増/194.1%)だった。日帰/宿泊ともコロナ前約 2 倍に増加。

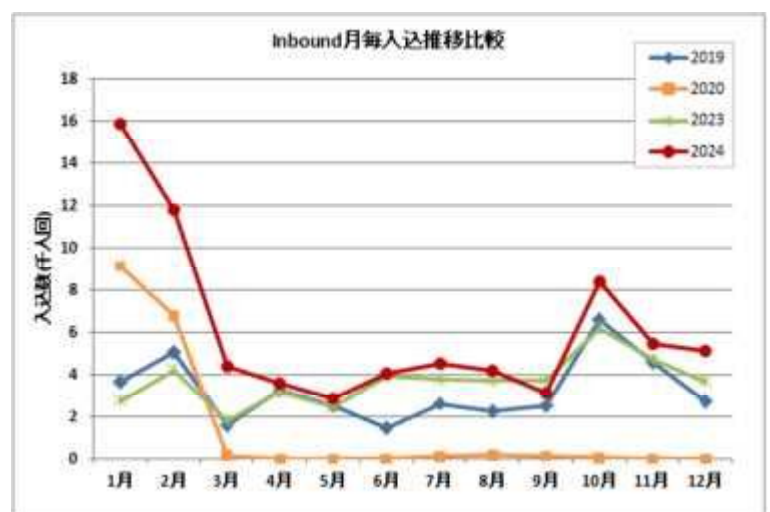
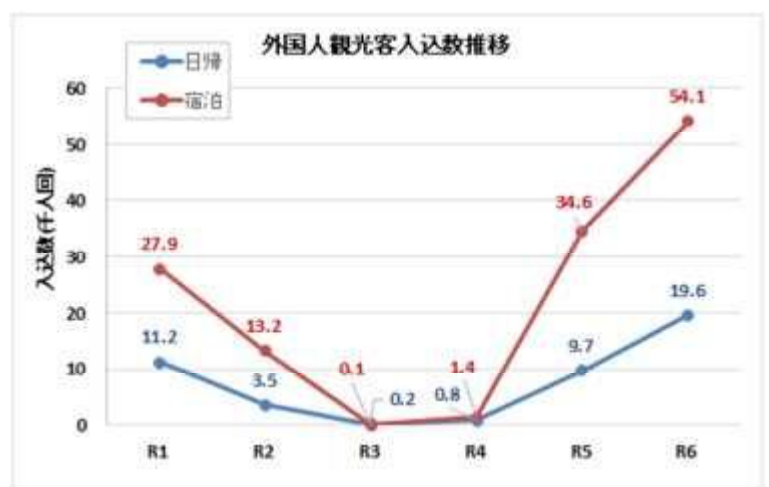
月毎の推移を見ると、冬期の入込が目立って増加している。本年町内スキー場でカウントされた海外からの来訪者数は 11,782 人回で、昨年より 8,463 人回増の 355.0%となった。残念ながら国・地域の別はほとんどが不明だが、スキー場近隣の宿泊施設の入込も加味して類推すると、このうちの 1,800~1,900 人回程度がオーストラリアからと見られる。

また、昨年グリーン・ツーリズム推進協議会を通して農作業体験やそば打ち等の食体験で外国人観光客を受入れたが、本年はデンマークとフィンランドから春に計 33 人回の体験を実施した。

主要国・地域別の入込状況は次ページの通り。日帰り施設を中心に国・地域不明のケースが多いが、アジアからが全体のおよそ 8 割を占め、次いでオセアニア、北米と続く。

主要国・地域の内、最も多いのは変わらず台湾で、49,164 人回と全体の 66.7%を占め、前年比で 17,350 人回増の 154.5%(R1 年比 21,257 人回増/176.2%)、宿泊客の増加が目立つ。第 2 位は 4,071 人回の香港で、前年比 215 人回増/105.6%(同 1,847 人回増/183.0%)、3,686 人回の韓国が続くがこちらは前年比 2,500 人回増/310.8%(同 3,078 人回増/606.3%)と大きく入込を伸ばした。ゴルフやスキーでの訪問の増加が押し上げたとみられる。

一方ターゲットのひとつとしているオーストラリアは、2,008 人回で前年比 1,339 人回増の 300.1%(同 937 人回増/187.5%)となり、過去最高だった R2 年を上回った。入込は 1 月、2 月、12 月のスキーシーズンで 1 年の約 96%を占めており、ほぼスキー・スノーボード目的での来訪となっていると見られる。

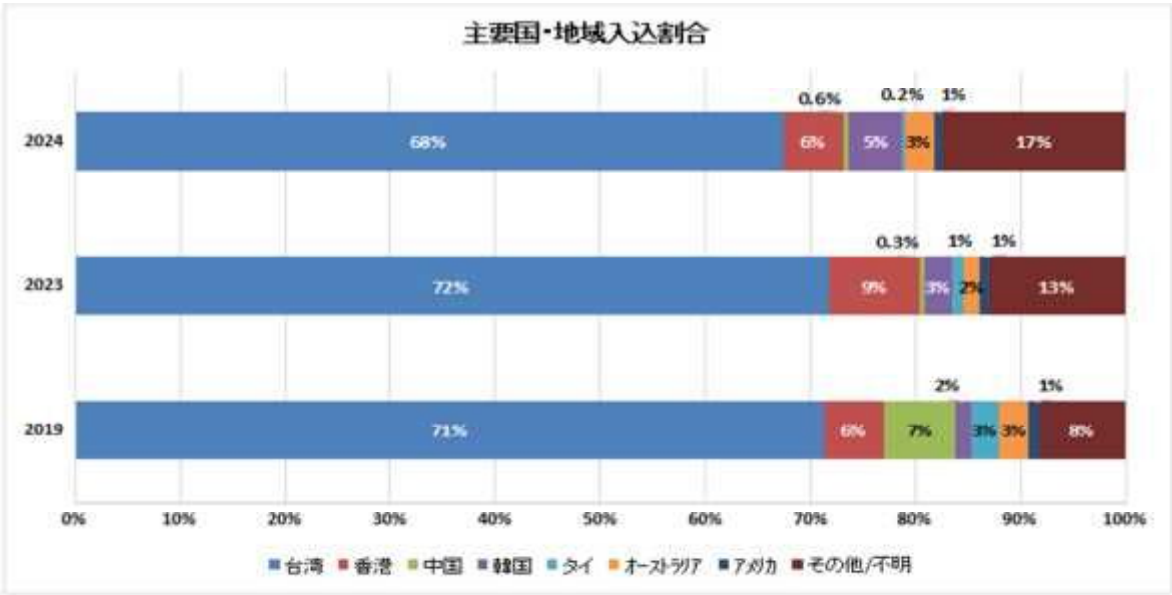


これら入込の多い4か国を地区別で見ると、台湾、韓国、オーストラリアでは西根地区がそれぞれ7割以上を占めるが、香港に関しては鶯宿地区への入込が全体の8割と、他の地区を圧倒する多さとなった。また、オーストラリアに関しては西根地区に次いで長山・網張地区の入込が多くなっており、このことからスキー・スノーボード目的での来訪が多いことが窺える。一方小岩井地区の入込は少なく、台湾の宿泊だけに留まっているのではないかと懸念される



外国人観光客の入込状況（人回）

地域 国籍等		人数			R1			R2			R5 (2023)			R6 (2024)		
		日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計
アジア	中国	1,938	712	2,650	32	248	280	44	111	155	111	314	425	111	314	425
	台湾	6,510	21,397	27,907	2,083	8,150	10,233	4,470	27,344	31,814	5,537	43,627	49,164	5,537	43,627	49,164
	香港	83	2,141	2,224	39	1,736	1,775	70	3,786	3,856	30	4,041	4,071	30	4,041	4,071
	韓国	258	350	608	12	60	72	404	782	1,186	1,531	2,155	3,686	1,531	2,155	3,686
	タイ	156	884	1,040	117	343	460	191	319	510	0	144	144	0	144	144
	シンガポール	64	188	252	2	33	35	7	73	80	8	172	180	8	172	180
オセアニア	その他	261	328	589	163	52	215	268	584	852	192	479	671	192	479	671
	オーストラリア	22	1,049	1,071	17	1,837	1,854	5	664	669	17	1,991	2,008	17	1,991	2,008
北米	その他	6	93	99	6	351	357	15	32	47	30	130	160	30	130	160
	アメリカ	185	250	435	170	162	332	190	215	405	244	395	639	244	395	639
	カナダ	1	40	41	2	16	18	0	3	3	15	34	49	15	34	49
ヨーロッパ	イギリス	14	31	45	5	18	23	0	3	3	0	52	52	0	52	52
	フランス	4	66	70	1	3	4	5	14	19	3	11	14	3	11	14
	ドイツ	19	166	185	3	38	41	26	47	73	20	71	91	20	71	91
	スイス	0	19	19	3	4	7	2	0	2	0	15	15	0	15	15
	スウェーデン	6	0	6	0	0	0	97	0	97	7	0	7	7	0	7
	その他	57	84	141	96	149	245	460	19	479	186	67	253	186	67	253
中南米		38	40	78	8	0	8	58	21	79	93	30	123	93	30	123
アフリカ		2	0	2	0	0	0	2	0	2	1	0	1	1	0	1
不明		1,566	63	1,629	740	0	740	3,419	561	3,980	11,542	419	11,961	11,542	419	11,961
合計		11,190	27,901	39,091	3,499	13,200	16,699	9,733	34,578	44,311	19,567	54,147	73,714	19,567	54,147	73,714

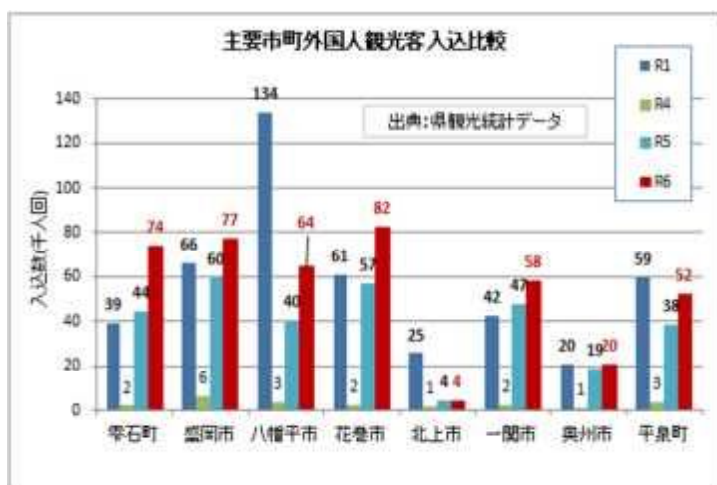
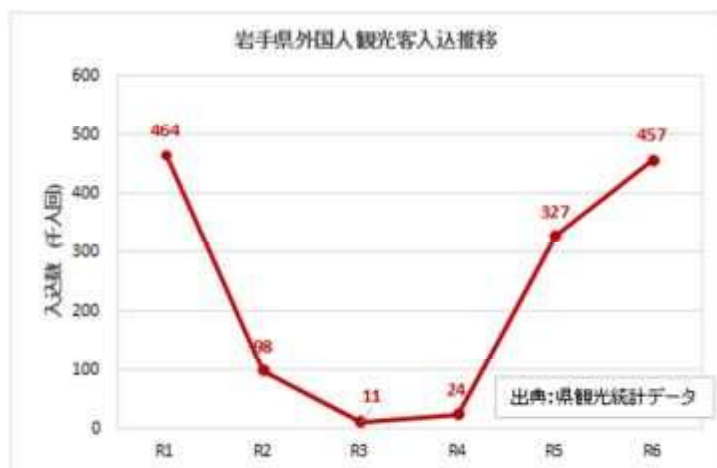


次に県の観光統計データから岩手県全体の状況を見てみる。

昨年 R5 年の外国人観光客数は、県全体として R4 年比で 303,070 人回増のおよそ 13 倍に急増し、全国的に外国人旅行者の増加があったにせよ、NYT 紙の効果はあったとみられる。本年も伸びはやや小さくなったものの、昨年より 129,525 人回増のおよそ 1.4 倍となった。コロナ前との比較では 7,654 人回減の 98.4%で、ほぼコロナ前の水準に回復した。

また主な他市町については、ほとんどの市町で昨年より入込が増加した。当町と八幡平市で約 160%、花巻市が 145%となった一方盛岡市はおよそ 130%で、県全体の伸びを下回る結果となった。八幡平市は第 4 四半期で入込を伸ばしたが、主力だった中国からの観光客が戻らない影響が続いている。中国からの観光客数は県全体としても未だコロナ前の 1/4 程度に留まっており、八幡平市のみではコロナ前の約 14%でしかない。スキー目的と見られるオーストラリアからの観光客数も第 4 四半期で 750 人回で、当町より多いが目立って多いというほどにはならなかった。

花巻空港への台湾定期便は昨年 5 月に再開され好調を維持しているものの、上海便は依然再開の見通しは立っていない。来年の旧正月期間には、限定で運行が予定されているが、早期の再開を期待したい。



8 2024～2025シーズン・スキー客入込状況

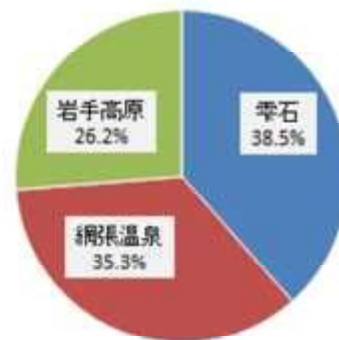
(単位:人回)

	年次	12月	1月	2月	3月	4月	計	備 考
栗石スキー場	11	6,005	20,004	21,440	3,855		51,304	12/18～
	12	3,728	18,293	18,577	9,600		50,198	12/22～3/20
	13	6,726	19,862	15,498	8,035		50,121	12/15～3/31
	14	7,990	17,993	18,699	10,189		54,871	12/14～3/30
	15	12,236	18,745	15,388	7,568		53,937	12/13～3/29
	16	2,994	11,489	11,011	5,498		30,992	12/23～3/27
	17	2,315	17,810	17,167	9,566		46,858	12/16～3/26
	18	7,613	22,138	21,140	9,658		60,549	12/16～3/25
	19	4,608	21,300	19,500	8,666		54,074	12/15～3/31
	20	5,400	21,740	19,020	5,720		51,880	12/21～3/29
	21	3,000	11,700	9,770	4,355		28,825	12/26～3/21
	22	4,100	16,620	14,900	7,540		43,160	12/25～3/27
	23	6,830	18,228	20,066	8,800		53,924	12/24～3/26
	24	4,141	20,161	19,064	6,408		49,774	12/23～3/24
	25	6,500	21,950	22,000	8,016		58,466	12/21～3/23
網張温泉スキー場	11	2,166	15,686	14,508	4,346		36,706	12/25～
	12	3,510	18,659	15,447	12,940	1,330	51,886	12/23～4/1
	13	5,833	18,406	14,405	13,026	2,012	53,682	12/15～4/7
	14	5,524	18,332	14,351	13,459		51,666	12/14～3/30
	15	7,475	17,600	15,099	11,821	1,065	53,060	12/13～4/5
	16	2,067	16,465	13,488	10,310		42,330	12/28～3/27
	17	1,602	16,327	16,565	16,565	838	51,897	12/18～3/26、4/1・2
	18	6,830	18,797	16,953	12,047	168	54,795	12/16～4/1
	19	5,279	17,275	14,409	12,047		49,010	12/15～3/31
	20	2,860	17,025	15,757	10,190		45,832	12/21～3/29
	21	2,710	16,936	13,982	10,533		44,161	12/26～3/28
	22	3,286	17,788	15,670	10,481		47,225	12/25～3/27
	23	3,487	17,226	15,428	11,464		47,605	12/24～3/26
	24	2,875	19,170	18,524	13,671		54,240	12/23～3/31
	25	4,181	18,436	18,235	12,770		53,622	12/21～3/30
岩手高原スノーパーク	11	6,296	32,681	25,896	3,687		68,560	12/19～
	12	7,233	34,543	22,343	9,840	1,262	75,221	12/22～4/8
	13	8,073	33,304	22,825	8,746		72,948	12/15～3/31
	14	11,274	31,006	22,090	11,128		75,498	12/14～3/30
	15	13,520	31,434	21,247	9,269		75,470	12/13～3/29
	16	5,748	26,818	18,586	6,126		57,278	12/23～3/27
	17	3,682	25,227	21,494	9,749	1,105	61,257	12/15～4/9
	18	11,574	28,418	21,634	8,995	723	71,344	12/9～4/8
	19	8,863	25,257	18,294	6,217	783	59,414	12/15～4/7
	20	4,245	21,072	14,035	4,842	262	44,456	12/15～4/5
	21	3,165	19,875	14,277	5,580	300	43,197	12/26～4/4
	22	2,367	19,016	14,468	6,344	1,116	43,311	12/18～4/10
	23	9,044	21,936	16,566	7,990	454	55,990	12/10～4/2
	24	3,475	14,190	12,177	6,678		36,520	12/23～3/31
	25	8,659	14,110	10,954	6,118		39,841	12/14～3/30
合計	11	14,467	68,371	61,844	11,888	0	156,570	
	12	14,471	71,495	56,367	32,380	2,592	177,305	
	13	20,632	71,572	52,728	29,807	2,012	176,751	
	14	24,788	67,331	55,140	34,776	0	182,035	
	15	33,231	67,779	51,734	28,658	1,065	182,467	
	16	10,809	54,772	43,085	21,934	0	130,600	
	17	7,599	59,364	55,226	35,880	1,943	160,012	
	18	26,017	69,353	59,727	30,700	891	186,688	
	19	18,750	63,832	52,203	26,930	783	162,498	
	20	12,505	59,837	48,812	20,752	262	142,168	
	21	8,875	48,511	38,029	20,468	300	116,183	
	22	9,753	53,424	45,038	24,365	1,116	133,696	
	23	19,361	57,390	52,060	28,254	454	157,519	
	24	10,491	53,521	49,765	26,757	0	140,534	
	25	19,340	54,496	51,189	26,904	0	151,929	

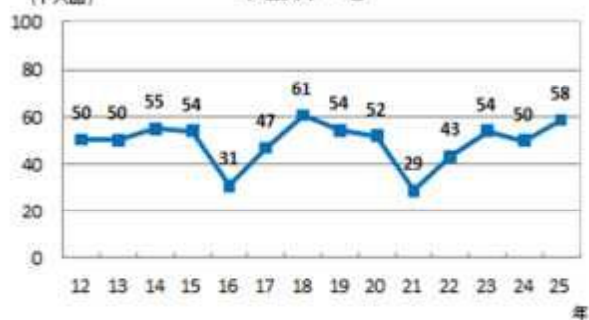
年次別スキー客入込推移(全体)



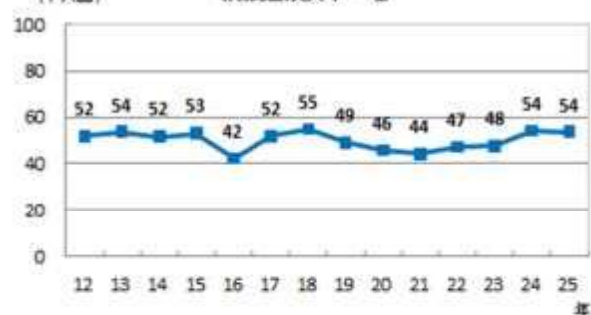
各スキー場の入込割合



平石スキー場



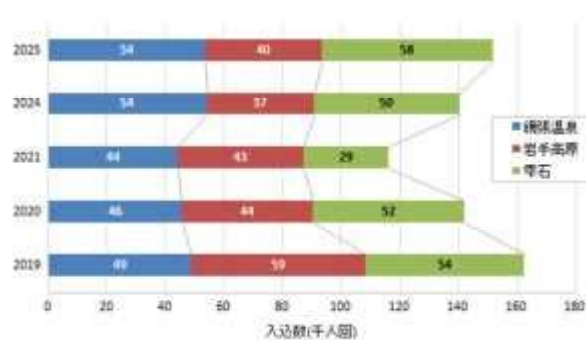
網張温泉スキー場



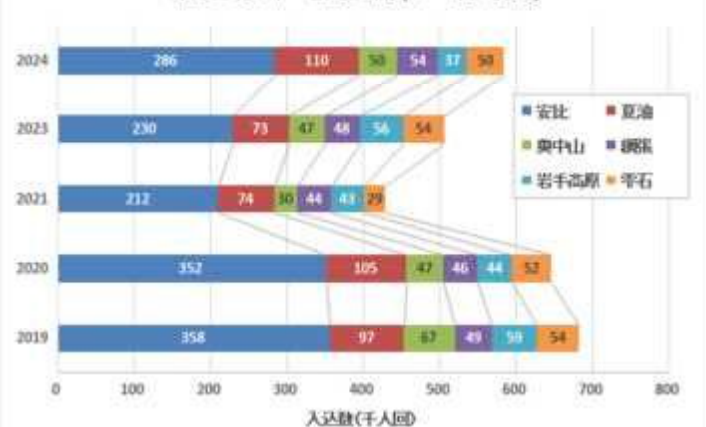
岩手高原スノーパーク



スキー客入込推移

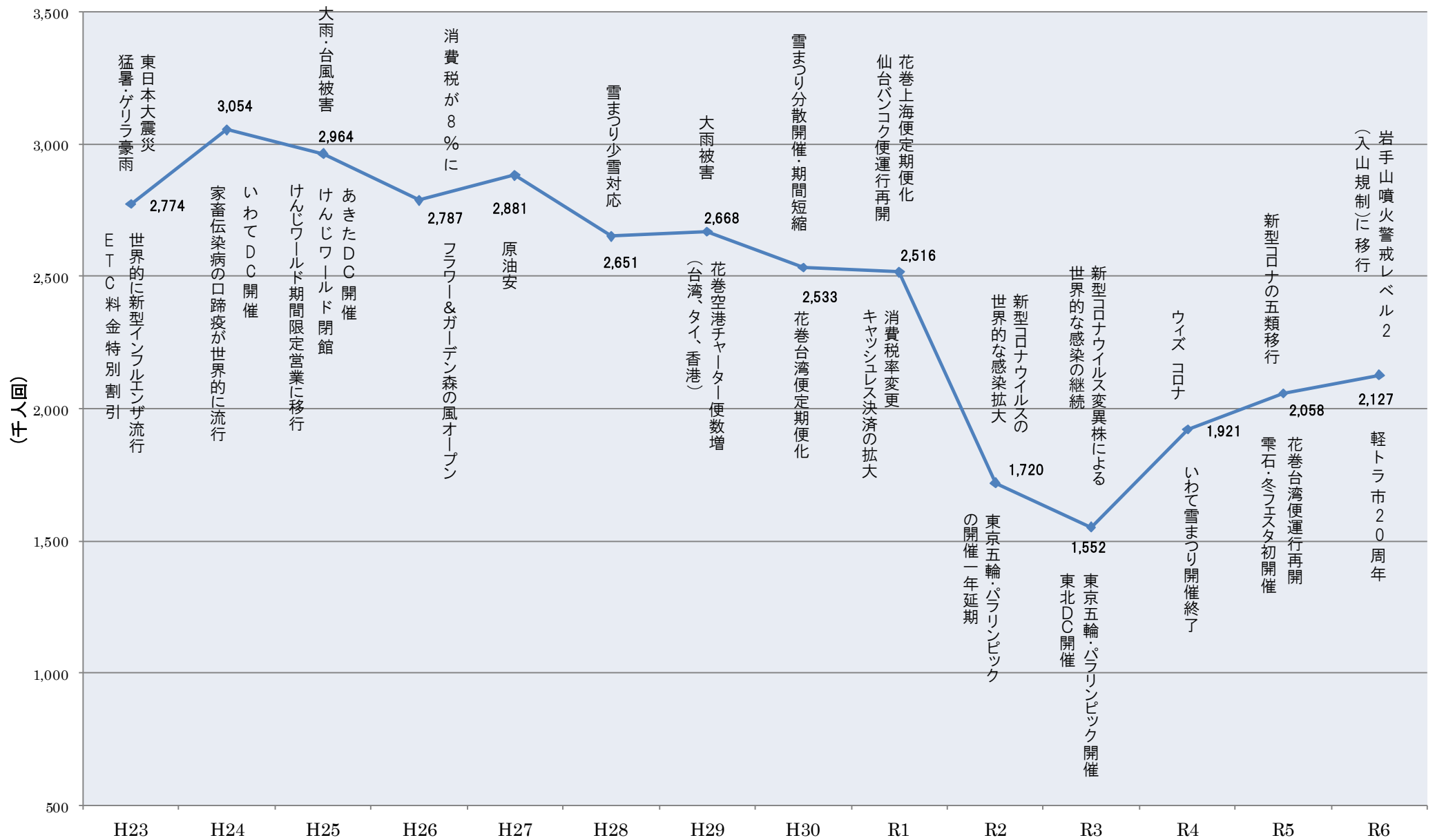


県内主要スキー場入込推移(12-3月で比較)



← 出典：県観光統計データ
(今シーズンのデータ公開前のため、
2023-2024 シーズンデータまで)

9 雫石町観光レクリエーション客入込数の推移 H23～R5



(参考) 旧基準 (S57~H22 まで)

